



多様な学びの場で
児童の気づきを促し、心を育てる



校長 佐藤 智子

国々を風はめぐって
人々の心をひらく
母なることば胸に秘め
世界の明日をみつめよう
いま未来は始まる
ああ暁星国際学園

学園歌の作詞者であり、日本の代表的現代詩人でもある谷川俊太郎さんの訃報にふれ、今一度学園歌を読みました。特にこの2番の歌詞は、暁星国際流山小学校の大きな指針だと思っています。先週1週間は、初めての試み“Reading week”

(Lunch timeの教師朗読・15分間の朝読書【写真右】など)でしたが、金曜日

は私が谷川さんの詩とレオ・レオニ作品の翻訳を朗読しました。谷川さんは次のように話しています。

翻訳は、外国語よりも日本語をよく知っている方が強いと思います。たとえば「blue」を訳す時、英語を母語とする人たちがどんなときにどんなふうを使うのか、まず調べるんです。そのなかから、日本語の意味が重なっているところを見つけると、うまく翻訳できない。～中略～ほかの場合、翻訳は日本語に自信があったから続けられたんだと思います。
【<https://playroom.labo-party.jp/persons/index38.html> より】

母語への自信を高められるような、そして英語やフランス語の学びが、単なる言葉の意味把握にとどまるものにならないような、そんな“世界を広げる言葉の学び”を実践し、学園歌にあるように“心をひらいて”“世界の明日をみつめる”児童を育てていきたいと思っています。



1年生で、23名の保護者の方の支援をいただき「昔遊び体験」が行われました。祖父母の方10名もご参加いただいたことで、昔遊びの世界がさらに広がり、親しみやすい雰囲気になりました。8つのブース毎に昔遊びに親しむ児童の表情は真剣そのもの。保護者の方の感想を紹介します。

- ◆うまく飛ばすためのコツを子ども達があみだして遊んでいた。大人が教えてあげるのほんの少し。【竹とんぼ】
- ◆ある子が反対をもってやってみて、すぐ飛んだ、小さい子の発想は素晴らしい。【竹とんぼ】
- ◆子供は指先を使う作業が少ないからからか、指から外れることが多かった。指を使う作業が必要だなと思った。【あやとり】
- ◆遊びの体験だけでなく、教え合う、見て学ぶなどのお友達関係も学べたと思う。【だるま落とし】

子どもを育てることの本質に触れる多くの感想をいただき、日々の学校教育でも大切にしていきたいと改めて思いました。ご協力いただき、ありがとうございました。



11月1日の避難訓練では、流山消防署の方々のご協力を得て、消火体験や煙体験を実施しました。的確に消火する方法を理解したり、煙の中を進む困難さと低い姿勢や口を押さえる大切さを体感したりと、実際の災害時に生かすことのできる体験ができました。避難の様子には課題が残ったので後日再度行い、真剣に素早く避難する必要性を確認しました。



今年度もアウトプット中心の授業を展開した11月9日の授業参観。1年生の Special Japanese は「思い出の一品」をテーマにショウアンドテル【写真左】でしたが、保護者の方からも Nice question が出され、学びが深まる場面もありました。4Aの Special Japanese【写真右上】では給食派か弁当派か、自分の考えだけでなく様々な人や視点(親や友達、働く人、宗教、フードロスの立場など)から思考を深め、まとめたことを発表する学習でした。3A【写真右下】の音楽では、楽器の演奏などのミニコンサートを披露し、保護者の方が笑顔で拍手を贈って



いました。児童は保護者の方々の参観に緊張を隠せない様子でしたが、これまで授業や行事、たくさんの場面で身につけてきたアウトプット力を発揮しようとしている姿をご覧いただけたかと思います。



社会科の学習では、3年生で地域のお店見学で「生鮮市場 TOP」へ【写真左】、5年生では工場見学で「雪印メグミルク工場」【写真右】へ行きました。3年生はお店の方の話を興味津々で聞くだけでなく、積極的に質問していました。

5年生は、牛乳とヨーグルトの試食もありました。安心して美味しい製品提供のための具体的



な工程や努力を目前で見るだけでなく、わかりやすい説明を聞くことで、自分たちの元に届く食品の品質や味が守られていることを実感できました。今年度は、グランドデザインにある“心の教育”充実のために…★外部講師の積極的な活用や出前授業により、児童の気づきを促し、心を育てる”につながる取組として、このような体験的学習、児童が実際に外に出て学ぶ学習を多く取り入れています。社会につながる視点を小学生時代からしっかりと育てることは、児童の心を育てることにもなります。ご家庭でもぜひ話題にさせていただき、働くことや、様々な人の努力で日々の生活が成り立っていることをお話いただければと思います。



葛西臨海水族園への2年生の校外学習は、実行委員による出発式【写真左上】からスタート。原稿を見ずにしっかりと伝える4人の姿に大きな成長を感じました。水族園では、珍しい魚たち、悠々と泳ぐ大魚、魚の不思議にふ



れ【写真右上】、子ども達の表情が輝きます。教育プログラム「いろいろな魚の形とくらし」【写真左下】では、海の魚のいろいろな形が、それぞれの生息環境やくらしと深く関連していることを、クイズを交えながら学びました。児童の参加意欲も高く、たくさんの挙手にインストラクターの方も驚いていらっしゃいました。



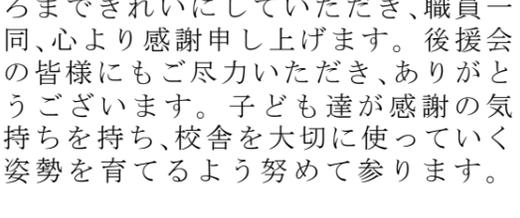
お天気にも恵まれ、青空の下、お弁当やおやつを仲良くほおぼる時間は、学校では味わえない貴重な思い出のひとつになりました。



3年生の校外学習はキッザニア東京。半分以上の児童が家族と行っていると答えている場所なので、学習を意識して準備や当時の活動、事後学習に取り組んできました。2～3人のグループでの活動で、お互いにやりたいアクティビティが違って話し合ったり譲り合ったりしながら体験していました。また、登校や出発、集合など時間をよく守れたこと、(学年で一台で行きましたが)バスレクも実行委員の準備により、大いに盛り上がったことなど、一日を通して守るべきことをしっかりと意識し、楽しむべきところはお互いを尊重しながら楽しむ姿に、一人一人だけでなく学年としても着実に成長していることを感じました。



11月2日のボランティア清掃は、あいにくの雨でしたが、多くの保護者の方々が参加してくださいました。日頃、業者の方々や私たち職員では行き届かない細かいところまできれいにさせていただき、職員一同、心より感謝申し上げます。後援会の皆様にもご尽力いただき、ありがとうございます。子ども達が感謝の気持ちを持ち、校舎を大切に使う姿勢を育てよう努めて参ります。



12月・1月の予定

12月	2(月)~6(金)	短縮授業(40分)	14	土	通常授業 (土曜日課)	
	4	水	4年生校外学習 (Tokyo Global Gateway)	11/18~12/10(火)	保護者面談 (全学年)	
	13	金	給食終了	16	月	終業式

1月	7	火	3学期始業式	18	土	持久走大会試走 6年生休校 第3回実用英語検定(午後実施)
	8	水	授業・給食開始・身体測定			
	11	土	千葉県私立小学校造形展 (ニッケコルトンプラザ)	20	月	短縮授業(40分) (暁星国際中学校入試会場のため)
	~20	月				
	17	金	短縮授業(40分)	25	土	持久走大会 6年生休校 ※ 2月1日[土]が予備日

表彰されました

おめでとうございます

- 【公益社団法人岡田茂吉美術文化財団主催】第3回MOA 美術館流山市児童作品展 書写の部 **金賞**
- 【一般社団法人全国書写書道教育振興会主催】第40回全国硬筆コンクール **優秀特選**
- 【読売新聞社主催】第74回全国小・中学校作文コンクール **優秀賞** **佳作**
- 【公益社団法人佐倉国際交流基金主催】第35回佐倉国際スピーチコンテスト **佐倉国際交流基金賞**
- 【日本空手拳法連盟NPO法人実武道会館主催】第27回NPO法人実武道会館オープン空手拳法選手権大会 組手防具小学1年 **第3位**
- 【グリーンテニスプラザ主催】ABOUT Cup Junior Tournament 2024 12歳以下女子ダブルス **準優勝**

2024 縄跳び検定結果(敬称省略) **体育だけでなく、リセスやランチブレイク、家での練習など、意欲的に取り組んだ児童もいます。今後も縄跳びで体力向上を図ってほしいと思います。**

1年	前跳び	218回	205回	121回
	後ろ跳び	56回	48回	28回
	あや跳び	16回	12回	11回
	交差跳び	13回	7回	2回
	二重跳び	実施者なし		
2年	前跳び	426回	292回	212回
	後ろ跳び	114回	90回	59回
	あや跳び	48回	35回	33回
	交差跳び	49回	38回	26回
	二重跳び	19回	1回	なし
3,4年	後ろ跳び	291回	245回	223回
	あや跳び	151回	138回	116回
	交差跳び	152回	83回	72回
	二重跳び	86回	76回	51回
	駆け足跳び	673回	671回	594回
5,6年	後ろ跳び	383回	271回	238回
	二重跳び	106回	77回	76回
	サイドクロス	130回	63回	56回
	はやぶさ	7回	5回	3回
	返し跳び	400回	230回	124回